

取り残された農村に 焦点を当てた経済・ 社会開発を



JICAモロッコ事務所長

畠山 敬
Hatakeyama Takashi

都市と農村、男女間の経済・社会的格差是正という課題に、モロッコは20年以上取り組んできたが、現在も依然として重要な課題だ。この状況を打開しようとモロッコ政府が開始したイニシアチブを、JICAの「人間の安全保障」が支えている。

日

本の1・2倍の国土に約3300万人が暮らすモロッコは、アラブ世界とヨーロッパ、アフリカをつなぐ要衝の国です。1人当たりGNI（国民総所得）は1700ドルを超え、就学率などの指標は徐々に改善され、貧困層は総人口の20%以下です。しかしながら、貧困層のほとんどが農村の住民であり、また識字率に端的に表れているように、男女間の格差は著しく、都市部で70%の識字率が農村部では40%、農村女性に限ると25%を下回っています。

私がモロッコに初めて赴任した1982年当時も、こうした地域・社会的格差の是正が大きな課題でした。この課題解決のために、農村部のインフラ整備や保健医療分野などで日本をはじめ各ドナーが支援を行い、モロッコ政府自身も努力を続けてきました。

そうした中、2005年5月に国王モハメッド6世が、地域・社会的格差対策を強化するために「人間開発に係る国家イニシアチブ」を発表しました。これは、特に貧困度の高い農村部の403のコミュニティ住民に対して、2010年までに、教育、保健医療、飲料水など人間が生きるために不可欠な社会サービスにアクセスできるように、直接支援を行うというものです。イニシアチブは「住民参加」を原則とし、住民のニーズに合った計画を彼ら自身で作成・提案し、各県が審査して政府からの資金を充てるというやり方をとっています。

これに対してJICAは、403のコミュニティに限定せず、もう少し大きい単位、「地域」の経済・社会開発に焦点を当てた支援を展開しているように考えています。具体的には、コミュニ

ーンから提案された計画を各県が適切に審査するための人材育成や、403のコミュニティとその周辺コミュニティとの間に新たな摩擦や格差が生じないように、周辺コミュニティを含めた一定地域の総合的な開発を視野に入れた支援などです。つまり、イニシアチブを直接的にも間接的にもサポートし、403のみならず農村で取り残されている多くの人々の生活を改善するための協力を行うことによって、モロッコに対するJICAの「人間の安全保障」の考え方を具体化しているように考えています。

協力の方法については、現在実施中の「地方村落部妊産婦ケア改善プロジェクト」が今年11月に終了するので、その成果をイニシアチブ対象地域と周辺地域に広げたり、403のうちのいくつかのコミュニティを対象に、すでに円借款で道路整備や飲料水確保、電化、中学校建設などを実施しているのを、それらの「土台」の上にJICAが新規の技術協力を行うなどとして、これまで以上に円借款を含む既存の案件との連携を図りながら協力していくように考えています。

また、国際協力銀行（JBIIC）との連携については、円借款実施対象地域において、円借款を活用して相乗効果をもたらすような新たな技術協力を実施したり、技術協力が成果を挙げてきた分野で新たな円借款事業をJBIICと共同で形成していくことなどを検討中です。

モロッコはJBIICとの統合を待たずにさまざまな業務を協同するパイロット国に指定されています。人間の安全保障という視点を中心に据えて、一体的な事業計画の策定・実施を推進していきたいと考えています。